

福山駅前アクションセッション会議

駅前の変化をきっかけに福山をもっとおもしろくしたい。そのための欲張りな作戦会議。

福山市では2018年3月「福山駅前再生ビジョン」を策定し、小さな変化が始まっています。しかし、駅前の変化は、本来「駅前」だけのものではないはず。福山のまち全体へ、ひいては瀬戸内エリアへの入口です。そこで、駅前再生がその周辺のエリアへどのようなかたちで波及したら私たちの暮らしがより豊かになるか、検討しておくべきだと考えました。アクション会議は駅前を福山城周辺、伏見町周辺、中央公園周辺、三之丸町周辺の4つのエリアに分け、各エリア内の空間資源とエリアの特性を掛け合わせて「こんなエリアになれば面白い」「こんなプロジェクトを起こせそうだ」など、新しい民間コンテンツの方向性やアイデアをぶつけて議論する場です。アクション会議で議論された方向性や事業アイデアを（仮称）デザイン計画に反映させ、民間プロジェクトと公共プロジェクトが連携して福山駅前のエリアを変えていきます。

2019.7.16 Tue 18:30

会場 ローズコム中会議室



メインテーマ 「新しい教育」

プログラム

- 18:00 ~ 受付
- 18:30 ~ 18:40 開催趣旨とテーマ説明
- 18:40 ~ 19:20 ゲストトーク
- 19:20 ~ 19:50 実践者による事例発表
- 19:50 ~ 21:00 会場も交えた意見交換

※プログラムは変更となる可能性があります

参加費無料/申込不要

メインエリア

中央公園周辺

エリアビジョン

多様な知識や文化が融合する学びの拠点

中央公園周辺エリアは公園と図書館が隣接する、教育というテーマと親和性の高いエリアです。「新しい教育」というテーマを切口に、地域を超えた新しい学びのプラットフォームを展開しているN高校の園氏をゲストに迎え、学びの拠点に向けたプロジェクトについて考えます。

ファシリテーター



清水 義次 氏

株式会社アフタヌーンソサエティ
代表取締役
福山駅前デザイン会議座長

1949年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。マーケティング・コンサルタント会社を経て、1992年、株式会社アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。主なプロジェクトとして、東京都千代田区神田RENプロジェクト、CET（セントラルイースト東京）、旧千代田区立練成中学校をアートセンターに変えた3331 Arts Chiyoda、旧四谷第五小学校を民間企業の東京本社に変えた新宿歌舞伎町喜兵衛プロジェクトなどがある。地方都市においても、北九州市小倉家守プロジェクト、岩手県紫波町オガールプロジェクトなどで、民間のみならず公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業をプロデュースしている。

ゲストスピーカー



園 利一郎 氏

学校法人角川ドワンゴ学園
キャリア開発部 副部長

早稲田大学第一文学部卒。広告会社勤務を経て2010年よりドワンゴで動画共有サイトniconicoや、同サービスによる大型イベント、ニコニコ超会議、闘会議等の宣伝、広報に責任者として従事。2015年より同社教育事業本部および学校法人角川ドワンゴ学園に移動・出向、N高等学校の立ち上げに参加。省庁や自治体と連携した教育事業、教育拠点づくりや、中高生を対象としたワークショップ、キャリア学習、プロジェクト学習を通じた能力開発プログラムの開発等、あたらしい学校のあり方や、新しい教育プログラムづくりに取り組む。

アクション会議は全4回の開催を予定しています

第2回 2019.8.21 Wed 18:30 @福寿会館

第3回 2019.10.31 Thu 18:30 @エフピコリム・スタジオA

第4回 2019.12.4 Wed 18:30 @AREA INN FUSHIMICHO

※日時・場所は変更となる場合があります。最新情報は市HPでご確認ください。

【主催】福山市

【問合せ】福山市 福山駅前再生推進室 (TEL) 084-928-1094 (MAIL) ekimae-saisei@city.fukuyama.hiroshima.jp